

今月の紙面
 2面:総合文化
 6・7面:総合スポーツ
 8面:神戸大10大ニュース

神戸大学ニュースネット
NEWS NET
 ©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html
 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011大阪府淀川区西中島3-21-9-502
 電話06-6307-1315 FA X06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

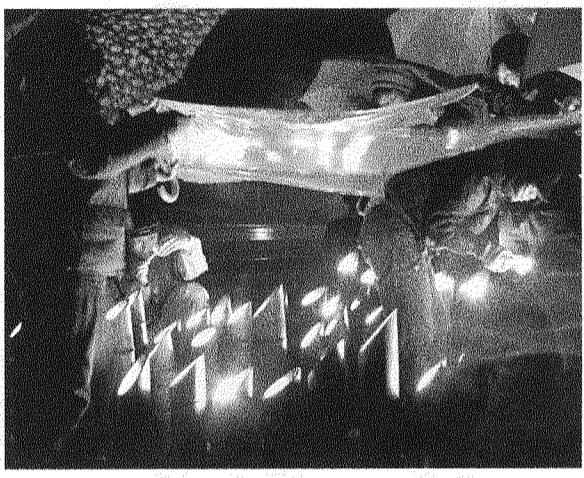
しらすな会 現地サポートも万全! 本紙のみの特典あり!
南紀サークル 合宿情報
 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
 電話0120-53-1662
 http://www.shirasunaka.jp/

2月号

震災12年目 決して忘れない1.17

雨中の「希望の灯り」 前夜、遺族も点灯

【聞き語り調査会】
 今年も「震災犠牲者聞き語り調査会」の学生らが1月16日午後9時ごろ、神戸大第1学舎前庭にある慰霊碑前で「1.17」に並べられた竹灯籠に灯りをともした。秋元康男さん(自然科学



シートで灯りを守る震災犠牲者聞き語り調査会のメンバー(1月17日・神戸大慰霊碑前)。撮影=山本晃弘

学研究所・1年)は「遺族の方の悲しみは半端じゃないと思う。僕は聞かないでいいです」と灯りを点けた。秋元康男さん(自然科学

旧商船大の慰霊碑が完成 学生「遅いけど、大切にしたい」

【阪神・淡路大震災】
 深江キャンパスで、震災により旧神戸商船大(現・神戸大海事科学部)で犠牲になった6人の慰霊碑除幕式が1月17日に行われた。野上智行学長ら多くの大



「神戸商船大学犠牲者慰霊碑」の除幕を行う野上智行学長(右)ら。(1月17日・神戸大海事科学部で 撮影=西田健悟)

式典冒頭で野上智行学長は6人の名前を読みあげ「私たちが何のためにここで学んでいるのか、研究しているのか、思いを新たにさせる機

「神戸商船大学犠牲者慰霊碑」の除幕を行う野上智行学長(右)ら。(1月17日・神戸大海事科学部で 撮影=西田健悟)

除幕を行った学生自治会長(海事・3年)は「犠牲者がいたことを知っていましたけど、実感する機会がなかった。改めて(震災について)考え直させられました。12年目の慰霊碑設立については

「遅すぎる気がしますけど、今後は大切にしていきたい」と話した。(濱田直毅)

落研の新春寄席 学休養室に詰めかけた。3日間計り人が演目を披露。最後は総勢9人による大喜利で締めくくられ、多くの観客が国際文化

お詫びと訂正 本紙1月号8面アメフト部の写真で「入れ替替を戦で逆転TDを決めたTE東内」とあったのは、最終戦で「の誤りでした。昨年、神戸大アメフト部は入れ替替を戦に出場していません。お詫びして訂正します。」

この世にはいつまでも変わらぬものがある。先日、高校の同窓会を訪れた。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。

上野志乃さんの父 語り継ぐ意志 「箱」撤去の危機越え

故・上野志乃さん(当時発達・9年)の父、政志さんが1月17日、神戸市内のニュー六甲ヒラ跡地の駐車

「楽しいのが一番!」落研の新春寄席 学休養室に詰めかけた。3日間計り人が演目を披露。最後は総勢9人による大喜利で締めくくられ、多くの観客が国際文化

お詫びと訂正 本紙1月号8面アメフト部の写真で「入れ替替を戦で逆転TDを決めたTE東内」とあったのは、最終戦で「の誤りでした。昨年、神戸大アメフト部は入れ替替を戦に出場していません。お詫びして訂正します。」

この世にはいつまでも変わらぬものがある。先日、高校の同窓会を訪れた。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。

この世にはいつまでも変わらぬものがある。先日、高校の同窓会を訪れた。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。

神戸大 閑話 純米大吟醸酒 神戶の香

昨年3月に初めて発売された、大反響を呼んだ純米大吟醸酒「神戸の香」。製造には産直が連携し、酒米「杜氏の夢(こじのゆめ)」の生産には農学部が携わ

「楽しいのが一番!」落研の新春寄席 学休養室に詰めかけた。3日間計り人が演目を披露。最後は総勢9人による大喜利で締めくくられ、多くの観客が国際文化

お詫びと訂正 本紙1月号8面アメフト部の写真で「入れ替替を戦で逆転TDを決めたTE東内」とあったのは、最終戦で「の誤りでした。昨年、神戸大アメフト部は入れ替替を戦に出場していません。お詫びして訂正します。」

この世にはいつまでも変わらぬものがある。先日、高校の同窓会を訪れた。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。

この世にはいつまでも変わらぬものがある。先日、高校の同窓会を訪れた。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。約2年ぶりの再会だから、同級生らの姿が高校当時と比べ、かなり変わった印象を受けた。親友と酒を交え、高校当時の恋愛話や思い出話に花を咲かせた。外見は変われど、大事な思い出はいつまでも心の中に残る。

●故・坂本竜一さん(当時工・3年)の母、要子さん「4、5年前に慰霊碑近くで、楠の新芽が落ちていたので、2本をいたたましした。そのうちの1本は息子の墓の横に植えました。今では15センチほどになっていいます。息子が生きていたら、(自分に)孫ができて

●故・藤原信宏さん(当時時経・4年)の父、宏美さん「慰霊碑に刻まれた(信宏さんの)名前をなぞか触ってしまいます。(神戸大慰霊碑)はいいですね。東遊園地の慰霊碑は(信宏さんの名前まで)手が届かなくて。」

●故・藤原信宏さん(当時時経・4年)の父、宏美さん「慰霊碑に刻まれた(信宏さんの)名前をなぞか触ってしまいます。(神戸大慰霊碑)はいいですね。東遊園地の慰霊碑は(信宏さんの名前まで)手が届かなくて。」

●故・藤原信宏さん(当時時経・4年)の父、宏美さん「慰霊碑に刻まれた(信宏さんの)名前をなぞか触ってしまいます。(神戸大慰霊碑)はいいですね。東遊園地の慰霊碑は(信宏さんの名前まで)手が届かなくて。」

●故・藤原信宏さん(当時時経・4年)の父、宏美さん「慰霊碑に刻まれた(信宏さんの)名前をなぞか触ってしまいます。(神戸大慰霊碑)はいいですね。東遊園地の慰霊碑は(信宏さんの名前まで)手が届かなくて。」

●故・藤原信宏さん(当時時経・4年)の父、宏美さん「慰霊碑に刻まれた(信宏さんの)名前をなぞか触ってしまいます。(神戸大慰霊碑)はいいですね。東遊園地の慰霊碑は(信宏さんの名前まで)手が届かなくて。」

一週間、購読無料!
 この機会に新聞を
 読んでみませんか?
 いまなら一週間お試し
 キャンペーン実施中!
 http://www.asa-takaha.com
 朝日新聞ご購読のお申込みは
ASA 高羽
 0120-084013
 神戸市灘区土山町1-13
 ※但し灘区内在住の方に限ります。

2006 神戸大10大ニュース

2 平成18年度前期入試 合格発表HPでミス

平成18年3月9日に行われた平成18年度前期入試のホームページ(HP)上での合格発表で、発表開始の午前10時から分間、前年度の合格者の受験番号を誤って掲載する事故が起った。

大学によると、前期日程は全11学部で6882人が受験し、1941人が合格。全受験生のうち1379人の合格者が不合格掲載され、1146人の不合格者が合格掲載された形になった。

タイトルには「平成17年度 前期日程」とあったが、定刻の午前10時欠開されたリストは「平成18年度」の合格発表表で、多くの受験生が信じた。

「受験生の皆さん、再度、合格の確認をお願いしま

す」。合格発表日の午後、大学ウェブサイトのフロントページのトップに、異例のタイトルが掲載された。「[きわめて人為的なミスで、受験生に心配をかけ申し訳ない]。野上学長は、3月10日の記者会見で大学側の非を認めた。

前期入試では「各学部の合格発表掲載ページ」で、平成17年度と同じURLを使用していた。後期入試では違うURLを使用するなどの対策がとられ、3月22日に行われた後期入試の合格発表は問題がなかった。

神戸大では平成16年度合格発表からHP上での合格番号の公開を行っており、今回のような問題は初めて、遠隔地で来られない学生のために、神戸大はHPでの合格発表は続ける意向だ。



神戸大のHP (イメージ画像)

1 男子ラクロス、ファイナル3 健闘も決勝で敗れる



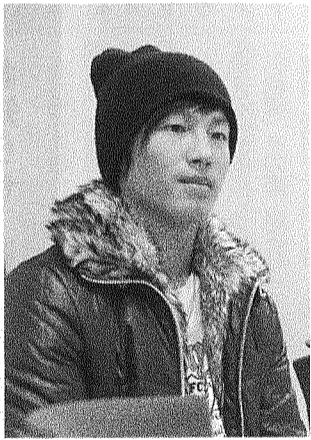
突破を図るキャプテンのMF福原

関西学生ラクロスリーグにおいて、今季神戸大は3勝3敗で3位。4年ぶりのファイナル3出場を決めた。初戦はリーグ戦で2-3の差を喫した。神戸大はファイナル3に出場するのは4年ぶり。久しぶりの大舞台で初戦の関学戦に勝利したものの、決勝の京大には敗北し、優勝を逃した。

神戸大は秋季リーグでは3勝3敗で3位。4年ぶりのファイナル3出場を決めた。初戦はリーグ戦で2-3の差を喫した。神戸大はファイナル3に出場するのは4年ぶり。久しぶりの大舞台で初戦の関学戦に勝利したものの、決勝の京大には敗北し、優勝を逃した。

11月18日の関学戦では苦戦が予想されたが、相手は11月23日に行われた決勝の京大戦。神戸大は関学戦と同じく先制され、後半は4-5で折り返し後半に迫る。しかし、後半開始直後に立て続けに3点を奪われ、完全に流れを奪われる。一度もリードすることなく6-12で敗北。リーグ戦王者の実力を見せつけられることになった。

5 優秀攻撃賞を受賞 期待のルーキー WR大園樹



今季鮮烈デビューを飾ったWR大園

2006年のリーグ戦を5位で終え、アメフト部レイバンスは世代交代を迎えた。新チームの注目選手は、昨年これ以上ない見事なデビューを果たしたWR大園(発達・1年)だ。

昨季はデビューシーズンながら全試合にスターターとして出場し、捕球回数でも2位に迫る活躍を見せた。ベストイレブンにも選出され、優秀攻撃賞まで受賞した。

ルーキーながらの大活躍にも「出るからには(学年は)考えていない。自分が結果を残すことがチームの貢献につながる」と、本人は落着いた様子。

「これからは精神的な面でも僕たちがひびいていかなければ」と、新チームへの責任も感じている。(リーグでも)飛び抜けた存在になりたい。神戸大の次期エースは、これからのさらなる飛躍を誓った。

4 未実施データ掲載 特許出願取り下げ

神戸大工学部機械工学科の大前信夫教授が2004年に特許の優先権を主張した際、出願書類に記載した8つの実験データのうち5つを、実際には実施せず書類に掲載していたことが4月27日、わかった。

問題となった特許は、工学部の大前信夫教授、田川雅人助教授、連携創造本部の中井哲男教授らが研究したダイヤモンドの切削工具に関するもの。ダイヤモンドにビームを当て、表面の凹凸を異なる化合物に変化させることで、鉄を切削する際にダイヤモンドの磨耗を抑えることができる。

同日行われた記者会見で大前教授は書面で後述の実験の実験を、検証する事もありたいと考えていました。出願取り下げについては大学の決定です。特許出願取り下げという事態に至ったこと、関係各方面に御迷惑をかけたことは誠に遺憾」とコメントし、「大学の組織体制の整備を図っていく」と、今後の方針についても話した。

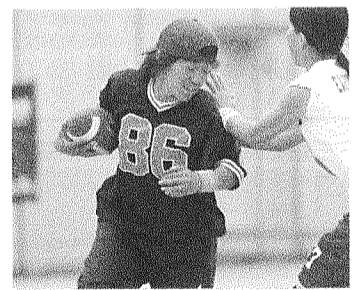
神戸大は7月13日、連名で特許出願した大前教授と中井教授を訓告、田川雅人助教授を嚴重注意としたことを発表。神戸大では、研究に関する倫理規定を事件が起る前から制定していたことで、これ以上重い処分を課すことはできないのが実情だ。

野上学長は「未実施データを既実施と記述して特許出願をし、特許出願取り下げという事態に至ったこと、関係各方面に御迷惑をかけたことは誠に遺憾」とコメントし、「大学の組織体制の整備を図っていく」と、今後の方針についても話した。

3 学生王者決定戦 悔し涙の準優勝

女子タッチフットボール第15回東西大学王者決定戦「プリンセスボウル」が11月23日に王子スタジアムであり、神戸大は成城大を下し、決勝戦に進出するも、武庫川女大に27-32で敗れ、学生王者にあぐらをかかなかった。

同大会は、関東・関西リーグのそれぞれ上位2大学が出場し、トーナメント方式で学生王者を決定する。3勝1敗で今季関西リーグ2位だった神戸大は、2年ぶり7回目の出場。



聖和大学の厳しいディフェンスを受けるWR中勝

決勝の相手・武庫川女大は、今季リーグ戦で唯一黒星を喫し、「昨年の決勝で、一点差で敗れた因縁の相手だ。決勝戦では、劣勢に立たされながら追いついた神戸大。しかし武庫川女大の壁は厚かった。高田主将は「ミスが大事なところであった。でも最後まで気が切れることはなかったと悔し涙をこぼした。コーチは才能だけでなく、努力でがんばったチーム」と今年のチームを振り返った。

6 工学部市民工学科 学科新設 六甲祭でアピール

工学部建設学科が来年度から改編されることとなった。新設される「市民工学科」。六甲祭では、大学院生が中心となり、テントを出しその内容をアピールした。

「市民工学科」という名称の学科が設立されるのは、全国でも神戸大が初めて。近年問題となっている「液状化現象」をわかりやすく理解するための模型など、さまざまな形で新学科の内容が紹介されていた。

工学部市民工学科は来年度初めての学生を受け入れる。

7 第1回 ホームカミングデー 卒業生が母校訪問

第1回神戸大ホームカミングデーが9月30日、百年記念館などで開催された。「現在の大学を知ってもらおう」という目的もあり、卒業生だけでなく、現役学生や教職員、地域住民なども集まった。野上学長は「現役学生が参加してほしい」と会の発展に夢を膨らませた。

各学部で、キャンパスツアーや懇親会も開かれ、卒業生は自身の大学生活を懐かしんだ。

9 欧州委員長 神戸大に来学

EU-17加盟国の06年度事業の一環として、パローゾ欧州委員会委員長が4月22日、神戸大に来学し、学生らに向けて「EUと日本のより良い明日のための戦略―知識のレスナンス」をテーマに講演を行った。

パローゾ委員長は「将来の生活水準を守るためには、知識の共有が必要」と述べ、日本とEUとのさらなる関係強化が重要だと話した。

10 硬式野球 春・秋ともに3位

春季・秋季ともに3位という結果に終わった。春・秋は強豪の奈良大、阪南大相手に3回戦までもつれ込む接戦を繰り返したが、私大との力差は確実に縮まってきた。だが、齋藤以外では勝てない弱みも残った。悲願の優勝へは、一番手以降の投手陣の成長が鍵となる。